

なるほど!

世界大恐竜展

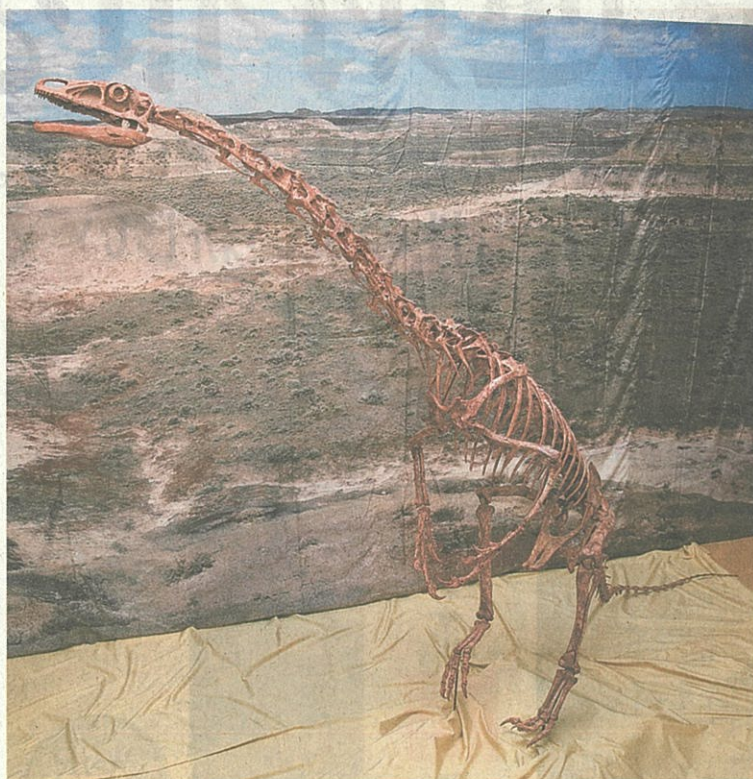
秋になると、山間部でクマの出没がニュースになることがある。その時、「今年は山のドングリが不作だから、クマが人里に降りてきて畑を荒らす」などと語られる。

分類上、クマは食肉類。鋭い歯を持ち、動物を襲って食べることもある。しかしふだんはほとんど植物を食べる「食肉類の中の変わり種」である。そういえば同じ食肉類のパンダも、ササやタケばかり食べている。同じような仲間が恐竜にもいた。すべての肉食恐竜は獣脚類とよばれるグループに属する。ティラノサウルスやアロサウルスなどのそうそうたる肉食恐竜がそろっている。しかし、最近の研究で、獣脚類の中には雑食、あるいは植物食の種類が結構いたらしいということがわかってきた。

たとえば今回、展示されているファルカリウスは獣脚類の「テリジノサウルス類」だが、雑食・植物食性だったと考えられている。手の爪だ

⑥ 変わり種のファルカリウス

爪鋭いが雑食・植物食



獣脚類ながら雑食、植物食だったとみられるファルカリウス

けを見ると大きくて鋭く、「これは怖い、きっと肉食」と思ってしまう。しかし細い首やきゃしゃな体つき、鈍い先を持つ小さな歯などを見ると、これはとても肉食向きではないことがわかる。

ファルカリウスは長い手の爪で植物の枝を引き寄せて食べていたようだ。獲物を抑え込むように見えると、これはとても肉食向きではない。 (石垣忍・岡山理科大学教授)

|| 随時掲載

「よみがえる地球の覇者! 世界大恐竜展」(山陽新聞社など主催)は9月1日まで岡山市北区駅元町、岡山シテイミュージアムで開催。8月5、19日休館。